

小菊（玉造）の栽培ごよみ

	10月～11月	鉢の表土が乾かない程度に水くれをして下さい。 (1日1回程度)
	12月	幹が枯れて、地際に新芽が生えてきます。 水くれは続けて下さい。
	2月～3月	新芽の上から枯れた幹をカットして下さい。
	4月	新芽が10cm～20cm位伸びたら消毒(病害虫防除)をして下さい。
	5月中・下旬	<p>新芽の先端から5cm位のところをカットし、挿し芽して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿沼土又は川砂、もしくは挿し芽用専用土を5～6cm入れた箱を用意し、5cm位の間隔で2cm程挿し込んで下さい。 ・風とおしの良い、日の当たらない所に置かか日除けをして下さい。 ・挿した芽がしおれない程度に水くれをして下さい。
	6月上・中旬	<p>挿し芽後3週間ほどで移植できます。後半の1週間は除々に日を当てる時間を長くし、しおれなくなったら日除けを取って下さい。また、消毒(病害虫防除)も1～2回行って下さい。</p> <p>市販の園芸用培土等を入れたビニールポット(9cm～10.5cm)を用意し、根を傷めないように移植して水くれをして下さい。</p>
	7月上旬	<p>ビニールポットの内側に根が回った頃に畑へ移植して下さい。(90cm～1m間隔で植える。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒マルチを敷いて植えると雑草が防げます。 ・植え穴は、株を植えた後に土を被せてよくふさぎ水くれをして下さい。
	9月	9月下旬までに消毒(病害虫防除)や除草をして下さい。
	10月上旬	<p>株が大きくなり、品種によっては花のつぼみが見られます。この時期になると、掘り上げて別の場所や大きな鉢に移植するのも良いでしょう。</p> <p>表土が乾いていたら1日1回の水くれは忘れずに！</p>